

「選挙詐欺要員」がテキサスで、134 項目の重罪犯で起訴される

Jay Greenberg, NeonNettle

November 8, 2020



テキサス州法務長官 Ken Paxton が、テキサス郡で不法に投票用紙を提出していた「選挙詐欺要員」を見つけたと発表した。

パックストン長官は、ソーシャル・ワーカーを名乗って、ライムストーン郡で、年配の身体・知的障害者の投票用紙を、不法に集め提出していた女性を、逮捕したと通告した。

同長官は、容疑者の Kelly Reagan Brunner が、134 項目の重罪となる選挙詐欺などによって、起訴されたことを明らかにした。

「ブルンナーは、67 人の住人に対する投票者登録申請書を、署名も実質的合意もなく提出し、彼等の代理人だと偽っていた。」



ケリー・レーガン・ブルンナーは、134 項目の重罪選挙詐欺などで起訴されている

〔関連記事〕：「投票詐欺集団が、テキサス州で、民主党のために選挙不正操作中を逮捕される」

ミシガンの共和党が「技術的故障」の修繕後、敗者から勝者に転換

現職議員 Adam Kochenderfer の民主党に対する敗北は、誤りが修正され逆転



「技術的エラー」と称するものが、民主党候補者の票を、2重計算していた

ミシガン州の選挙戦は、民主党の挑戦者の勝利とされていたが、「技術的なグリッチ」が発見され、修正された結果、現職の共和党員が、敗者から勝者になった。

オークランド郡コミッショナー、Adam Kochenderfer 共和党員は、火曜日、選挙戦にきわどい敗北を喫した。

すべての地区が発表された後、コッチェンダーファーは、彼の敵手である Melanie Hartman に、104 票差で負けたものと信じた——19,448 対 19,344。

彼は、共和党の挑戦者ハートマンに、敗北宣言さえしていた。

ところが、彼は、係員たちが「エラー」を見つけ、その結果、7つの地区が2度勘定されていたことが判明した後、勝者に再選された。

職員たちは、投票者たちに「このシステムに自信を持つ」ように要請することによって、この「グリッチ」に応えた。・・・

ノエム知事が、「広範囲な詐欺の証拠がない」という主張 に対し、ABCを一蹴

サウス・ダコタ州共和党知事が、トランプを弁護し、メディアのバイデン支持を非難



サウス・ダコタ州知事 Kristi Noem は、ABC や他の反トランプ・ネットワークからの、「広範囲な詐欺」が選挙で起こった「証拠はない」という主張を、一蹴した。

ABC ニュースとのインタビューに際し、ノエム知事は、ホストのジョージ・ステファノポロスからの、結果に影響を与えるような、投票詐欺の証拠はないという挑戦を否定した。

ノエムは、このプログラム *This Week* に、日曜日に出演し、他のトピックスとともに、2020 選挙を論じた。・・・

ABC のホストは、「広範囲な詐欺」といわれるものについて、ノエムに質問した。

「ノエム知事、あなたは、これが正直な選挙でなかったという証拠があるというのですか？」



ノエム知事は、反トランプ・ABCニュース・ホスト、ジョージ・ステファノポロスの主張を一蹴

「広範囲な詐欺の証拠をもっていられるのですか？」と、ステファノはさらに聞きただした。

「私は、ジョージアとか、アリゾナとかの共和党秘書とも、全国の共和党事務官とも話しています。彼らは広範囲な詐欺の証拠など全くもっていません。」

共和党知事はステファノの主張を否定して、調査官たちが、投票詐欺の証拠を次々に発見しており、これは更なる調査と、訴訟による追及に値するものだと言った。

「それは本当のことではありません、絶対に本当ではない」と、ノエムは声を高くして、「広範囲の詐欺」の証拠などないという、ABCホストの主張を押し返した。

「人々が法的文書に署名して、不法な活動を見たという宣誓供述をしているのです。これこそ私たちが、法廷でこうした会話をしなければならない理由です。」

ノエムはさらに、投票詐欺を主張する特別の例を持ち出し、それらは調査して、何も不正なことは起こっていないと確認するためにも、法廷を通じて、訴訟に持ち込むべきものだ、と言った。

「ニューヨーク・タイムズ自体が、事務的な誤りがあると言っています。」

「ミシガンで、どういうことが起こったのかを調べてみればいい。コンピューター“グリッチ”が起これ、それが共和党の票を、民主党の票に変えてしまったのです。」

「ペンシルベニアではどうか？ 死んだ人たちが、ペンシルベニアでは投票しているのです」と、ノエムは言った。

「だから、ジョージ、私はどれくらい広く広がっているかは知りません。」

「それが選挙の結果を、変えるかどうかは知りません。しかし、なぜ、誰もかれもが、公平な選挙をして結果を見るだけのことに、これほど怯えるのですか？」



[訳者 Greatchain から一言]

これら NeonNettle による、ごく最新のニュース 3 篇は、いずれも要点をかいつまんだものである。すべてが重要で説得力があるが、私を特に唸らせたのは、サウス・ダコタ州ノエム知事の、この最後の名言である：——

これが選挙の結果を変えるかどうかは知りません。しかし、なぜ、誰もかれもが、公平な選挙をして結果を見るだけのことに、これほど怯えるのですか？

もう一つ加えて言うなら、公平な選挙をしたのなら、なぜ、バイデン側は、まだ正式の任命はだいぶ先のことなのに、ホワイトハウスから、トランプを追い出すとか、「いぶり出す」とか言って、急がなければならないのか？ あるいは「怯え」なければならないのか？

また ABC も、どのメディアも同じだろうが、特にわが国の新聞は、バイデン-ハリス政権を強引にきめるや否や、なぜ、自分が組閣を任されたかのように急ぎ出すのか？ あるいは「怯え」出すのか？

もう一つ余計な（しかし肝心な）ことを言うと、クリスティー・ノエム知事にせよ、米最高裁判事となったエイミー・コニー・バレット女史にせよ、トランプを信頼する女性は、なぜ、このような知的な美女であり、選挙詐欺や不正の手伝いをする、ブルンナーという女は、なぜ、これだけ典型的な「悪い女」なのだろうか？ それはこの選挙をめぐる悪事が、ちょっとした出来心や遊び心でなく、完全に計画された、根源的な「悪」からきているからである。そう考えたい。